

第4回

バナナ・果物

消費動向調査

日本バナナ輸入組合
2008年8月
(8月7日はバナナの日)

目次

調査概要	2
調査結果	
よく食べる果物	3
バナナを食べる頻度	3
朝食にバナナを食べる頻度	4
バナナを食べることが多いタイミング	4
バナナを食べる理由	5
バナナを食べたいと思う時	6
朝食に食べる物	7
どのような朝食なら食べられるか	8
朝食におけるバナナの食用意向	8
バナナを買う時の基準	9
バナナの価格意識	9
バナナの購入を喚起する効果	10
統計資料	11

調査概要

●調査目的

本年度で4回目を迎える『バナナ・果物消費動向調査』ですが、朝食の必要性が言われる中、朝食におけるバナナのポジショニングについて、バナナがどんな時に、どのような理由で取り入れられているかを探ってみました。

●サマリー

バナナは4年連続よく食べる果物で1位となりました。

朝食にバナナを食べる頻度では、約4割の人が週に1回以上朝食にバナナを食べており、朝食にバナナを食べる頻度が高い人ほど、「健康に良い」、「栄養が優れている」といった理由でバナナを食べている傾向がうかがえました。

●調査対象 : 全国16歳から87歳の1442人(男721人、女721人)

●調査時期 : 2008年5月30日～6月1日

●調査方法 : インターネットアンケート

●属性割付 :

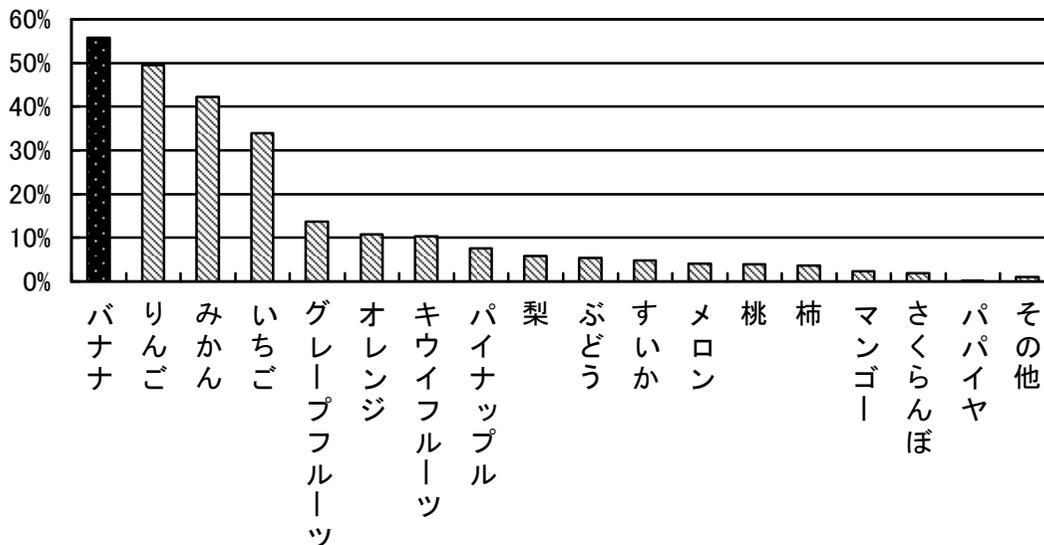
		人数
合計		1442
性別	男	721
	女	721
性別一年齢層	男-10代	103
	男-20代	103
	男-30代	103
	男-40代	103
	男-50代	103
	男-60代	103
	男-70歳以上	103
	女-10代	103
	女-20代	103
	女-30代	103
	女-40代	103
	女-50代	103
	女-60代	103
	女-70歳以上	103

よく食べる果物

「バナナ」・・・55.8%、「りんご」・・・49.5%、「みかん」・・・42.3%、「いちご」・・・34.0%

バナナは4年連続よく食べる果物の1位です。

Q. あなたがよく食べる果物をお選びください。(3つまで n=1344)



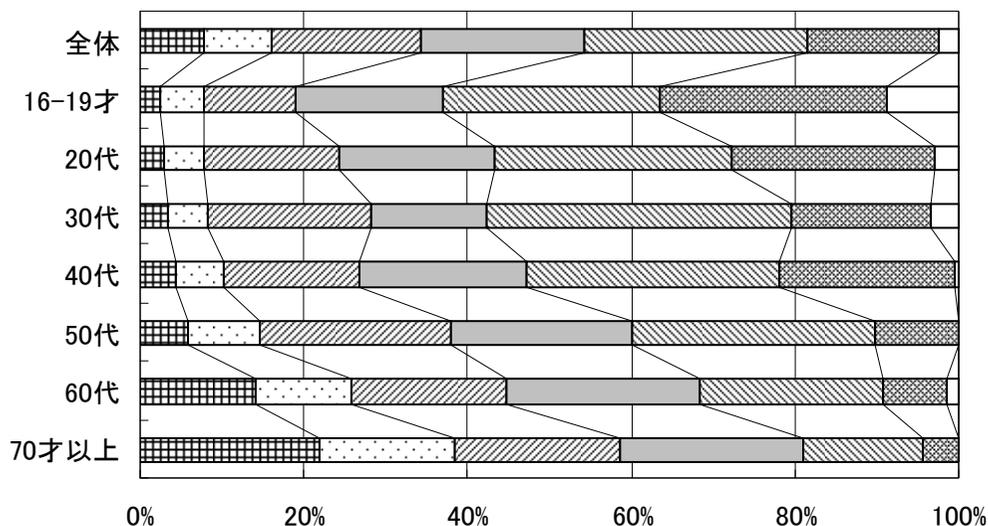
バナナを食べる頻度

「毎日」・・・7.8%、「週4、5回」・・・8.3%、「週2、3回」・・・18.1%、「週1回」・・・20.0%

週に1回以上バナナを食べる割合が全体の半数以上を占めています。

Q. あなたはどのくらいの頻度でバナナを食べますか。(単一回答 n=1442)

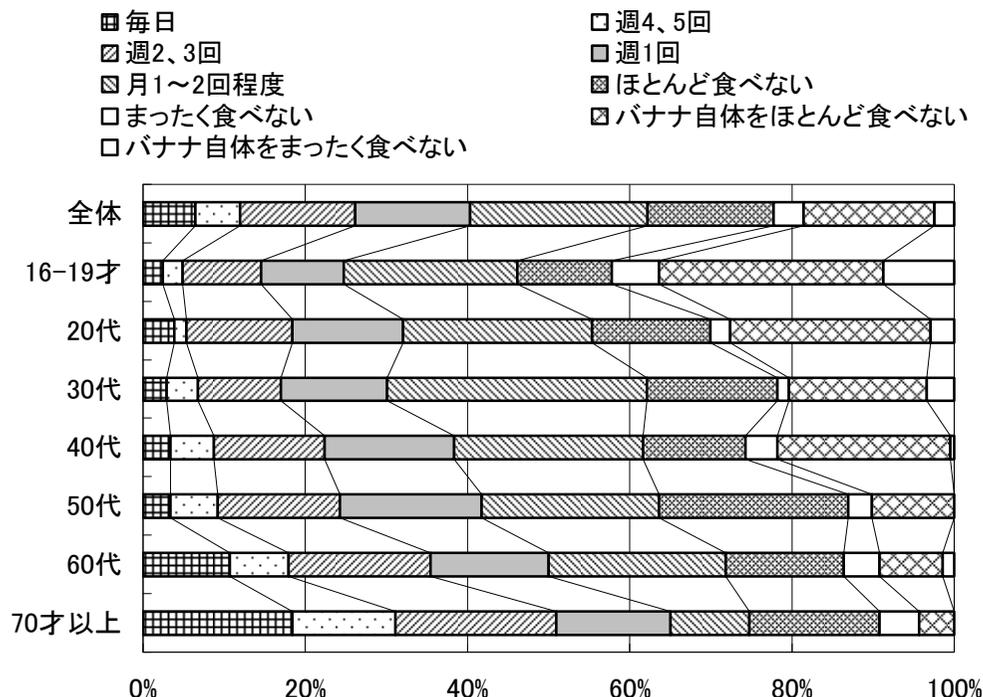
毎日 週4、5回 週2、3回 週1回
 月1～2回程度 ほとんど食べない まったく食べない



朝食にバナナを食べる頻度

約 4 割の人が週に 1 回以上朝食にバナナを食べています。

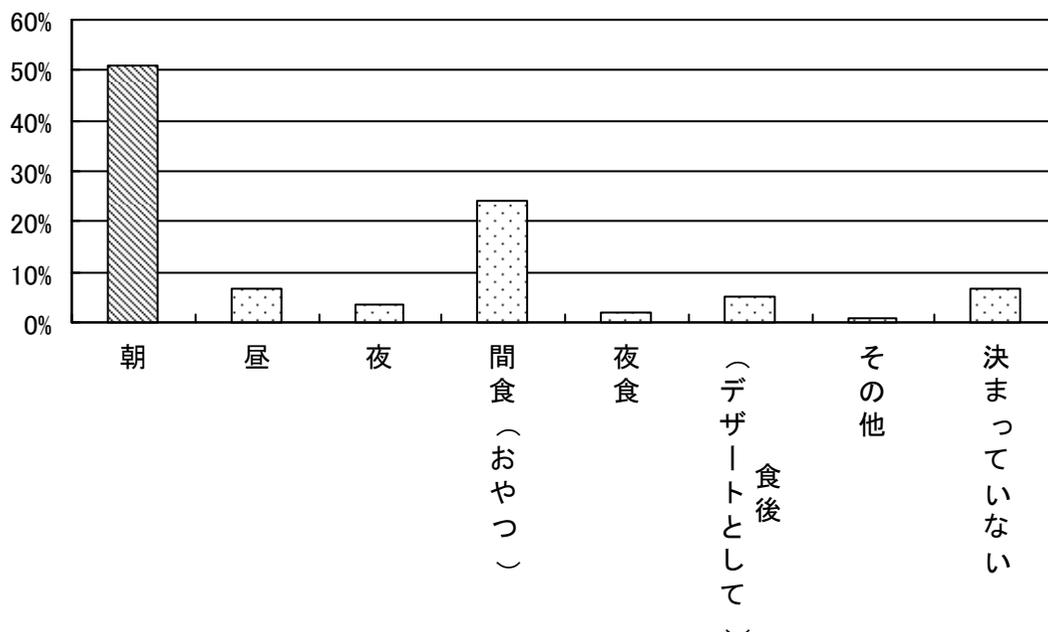
Q. あなたはどのくらいの頻度で朝食にバナナを食べますか。(単一回答 n=1442)



バナナを食べることが多いタイミング

「朝」にバナナを食べる割合が約半数を占めています。

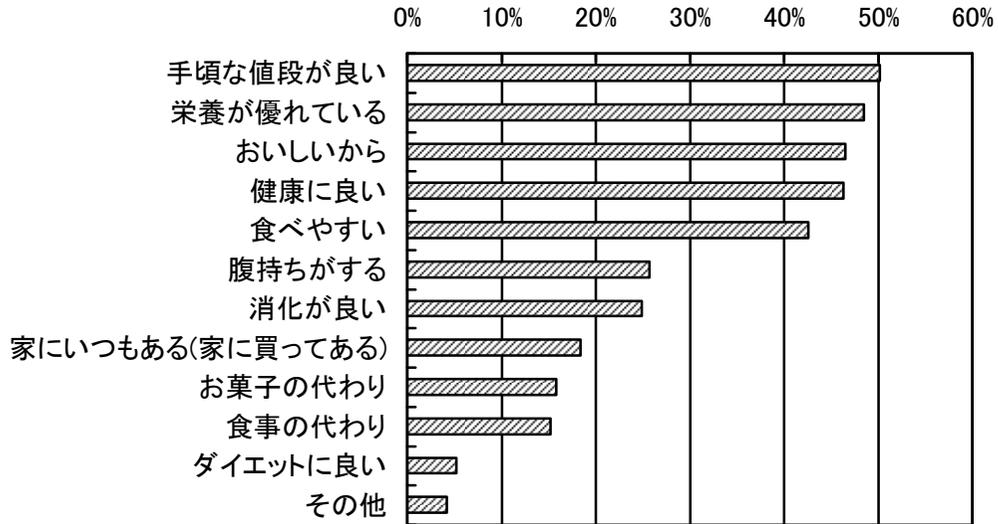
Q. あなたはバナナをいつ食べる人が多いですか。(単一回答 n=1174)



バナナを食べる理由

過去3回の調査同様、「手頃な値段が良い」、「栄養が優れている」、「おいしいから」、「健康に良い」、「食べやすい」がバナナを食べる理由の上位となっています。

Q. あなたがバナナを食べる理由をお選びください。(複数回答 n=1174)

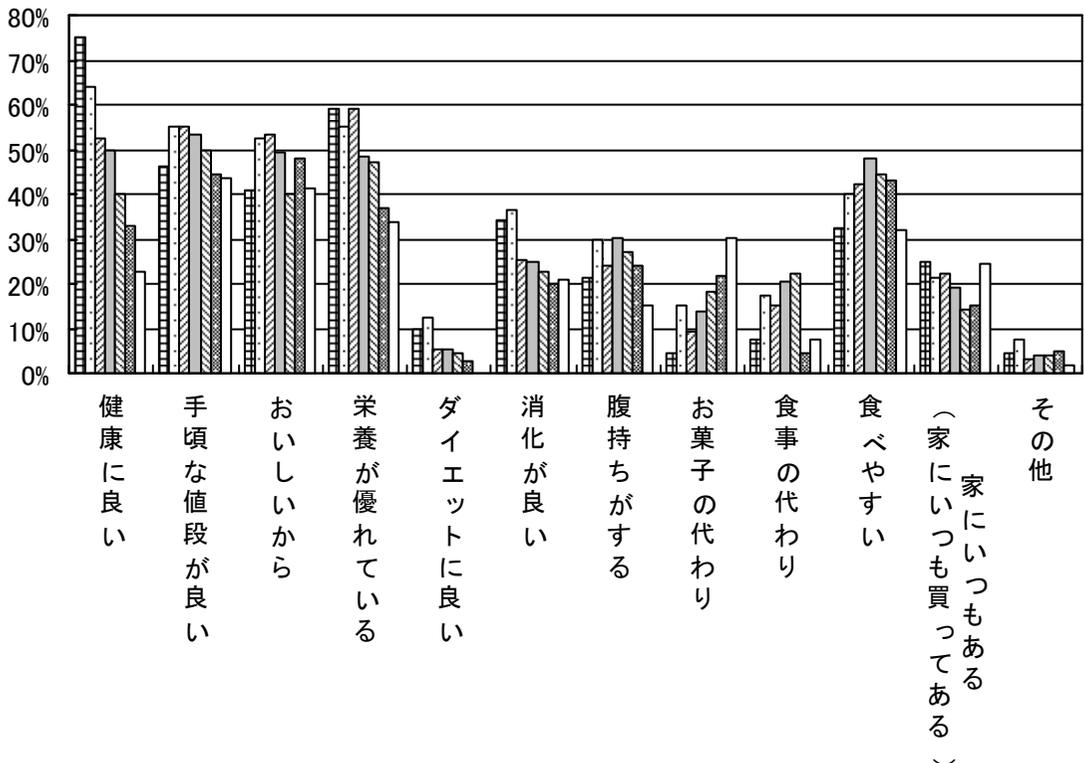


● 朝食にバナナを食べる頻度×バナナを食べる理由

朝食にバナナを食べる頻度が高い人ほど、

「健康に良い」という理由でバナナを食べる割合が高い傾向にあります。

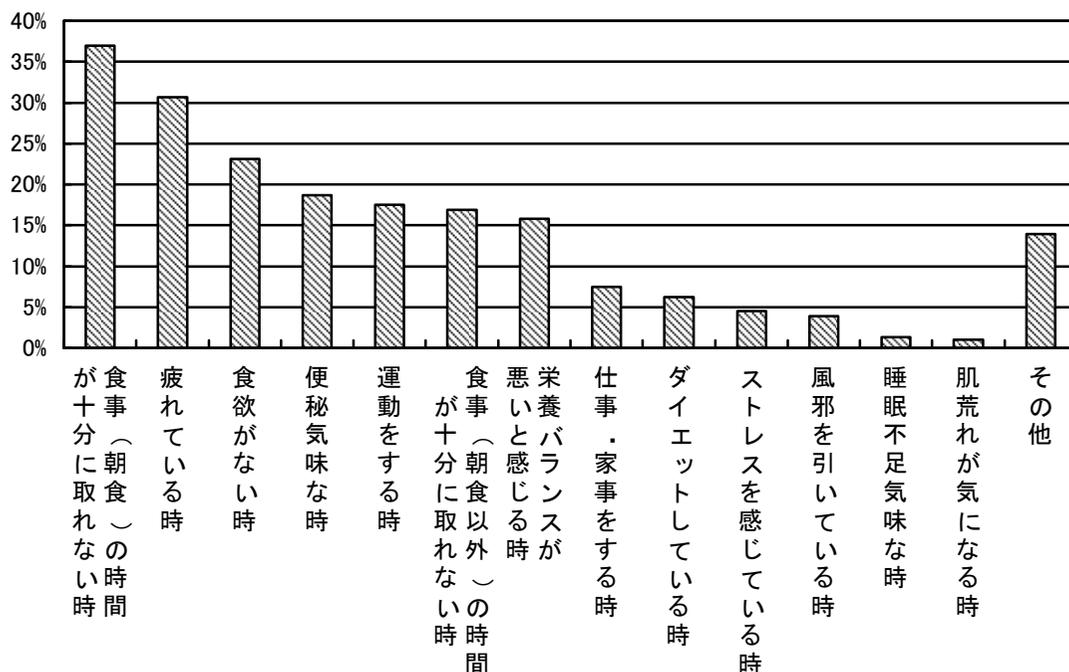
■ 毎日 □ 週4、5回 ▨ 週2、3回 □ 週1回 ▩ 月1~2回程度 ■ ほとんど食べない □ まったく食べない



バナナを食べたいと思う時

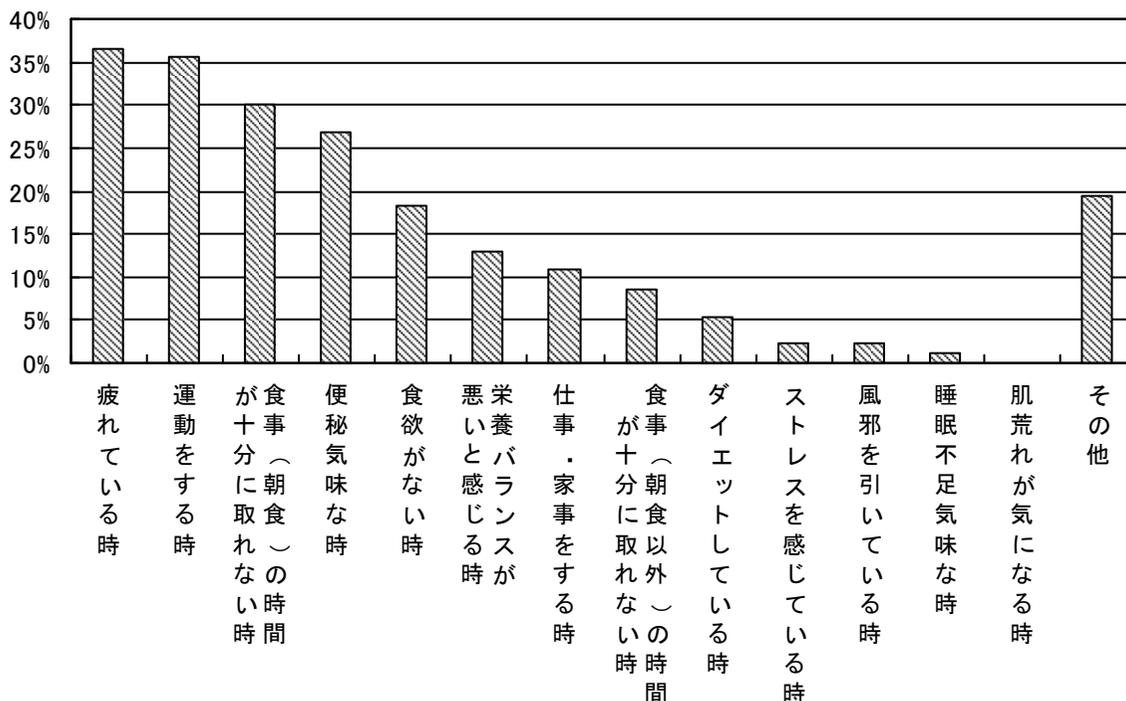
「食事（朝食）の時間が十分に取れない時」が最も高くなっています。

Q. あなたはバナナをどんな時に食べたいと思いますか。（3 つまで n=1174）



●毎日朝食にバナナを食べる人×バナナを食べたいと思うシーン

毎日朝食にバナナを食べる人では、「疲れている時」が最も高くなっています。

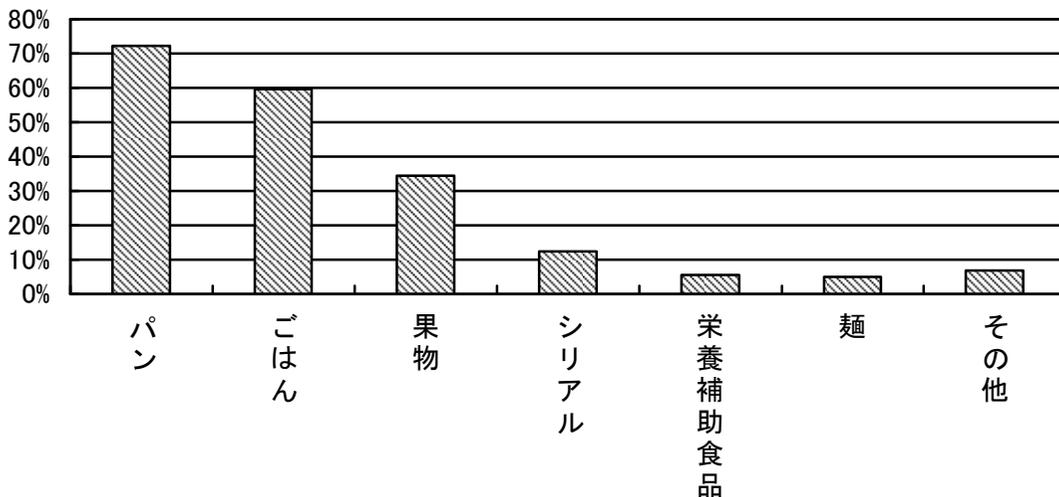


朝食に食べる物

「パン」・・・72.3%、「ごはん」・・・59.6%、「果物」・・・34.5%

「パン」、「ごはん」に次いで「果物」も朝食によく食べられているようです。

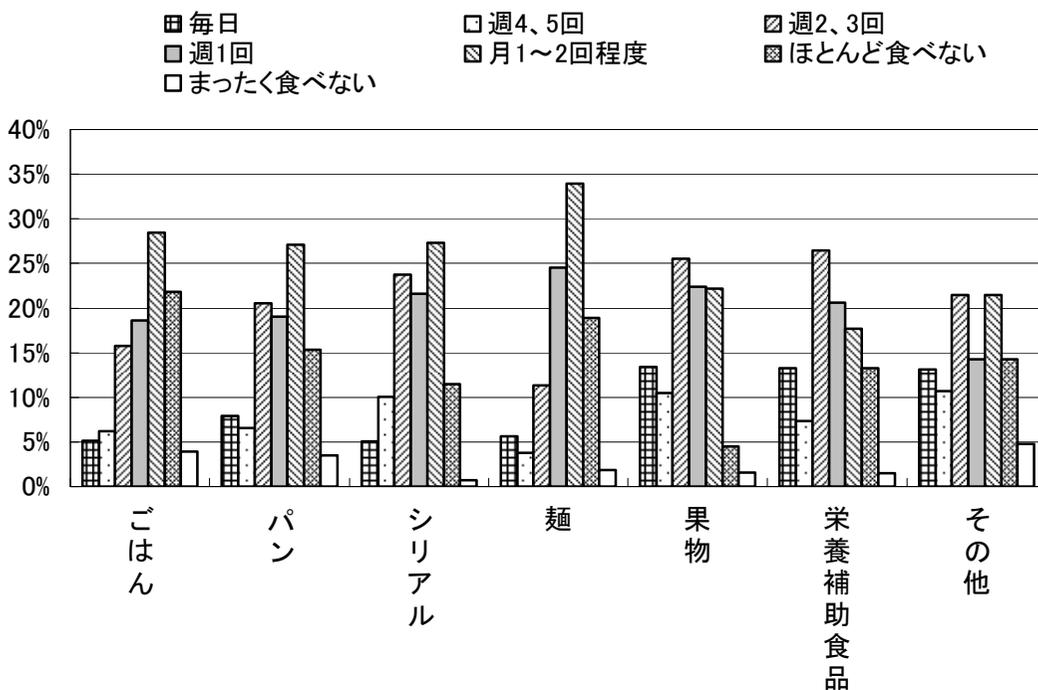
Q. あなたは朝食にどんなものを食べますか。(複数回答 n=1351)



●朝食に食べる物×朝食にバナナを食べる頻度

朝食に「果物」や「栄養補助食品」を食べる人では、

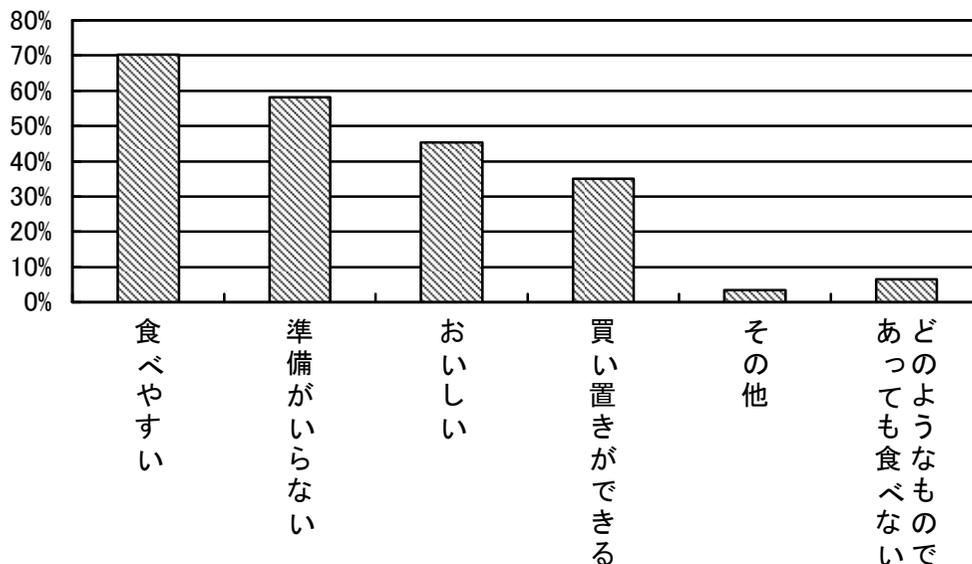
朝食にバナナを食べる頻度が比較的高い傾向がうかがえます。



どのような朝食なら食べられるか

朝食を毎日食べていない人に、どのような朝食であれば食べられるかを聞いたところ、「食べやすい」が最も高く、次いで「準備がいらぬ」、「おいしい」と続きます。

Q. どのような朝食であれば食べられますか。(複数回答 n=370)

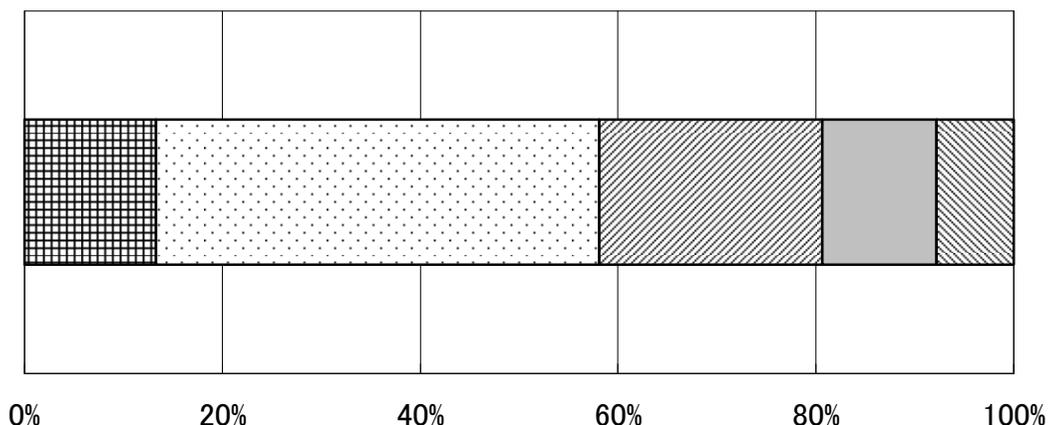


朝食におけるバナナの食用意向

朝食を毎日食べていない人のうち、朝食を食べる意向のある人に、朝食がバナナなら食べるかを聞いたところ、「食べたくない」が 19.4%と、「食べたい」意向が強い傾向がうかがえます。

Q. 朝食がバナナなら食べますか。(単一回答 n=346)

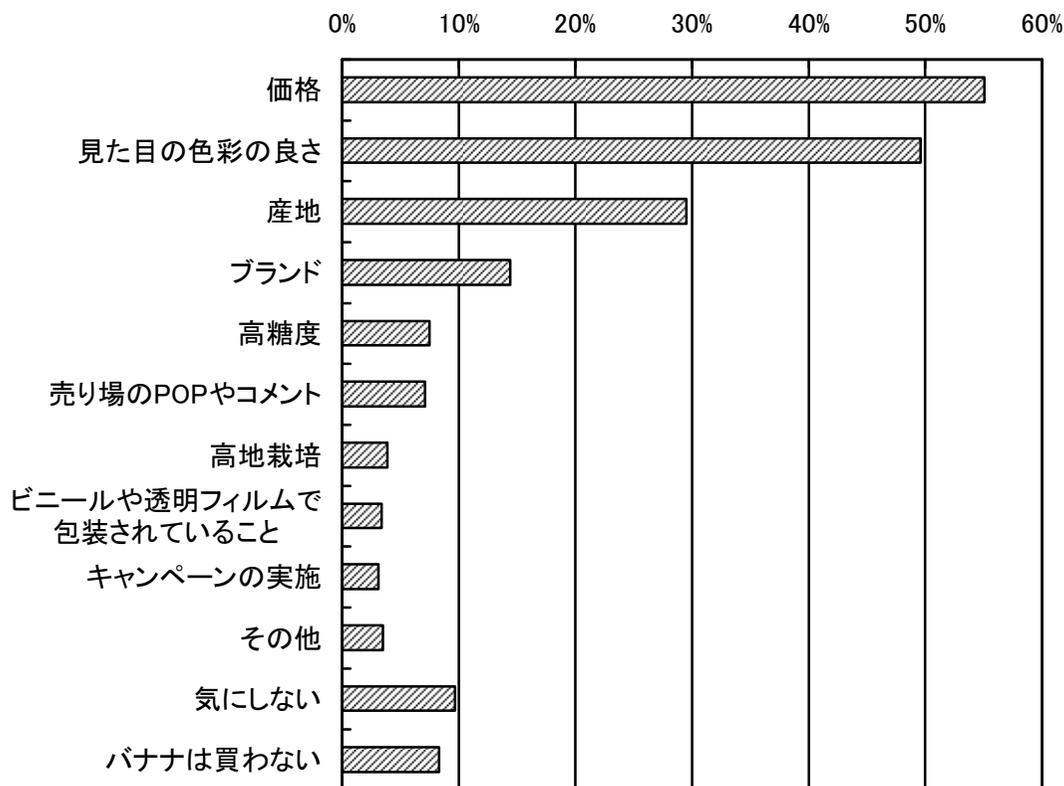
- 田 とても食べたい
- まあ食べたい
- ▣ どちらともいえない
- あまり食べたくない
- ▤ まったく食べたくない



バナナを買う時の基準

「価格」、「見た目の色彩の良さ」、「産地」以外の回答は2割未満となっており、バナナを購入する際は、主に「価格」、「見た目」、「産地」で判断をしているようです。

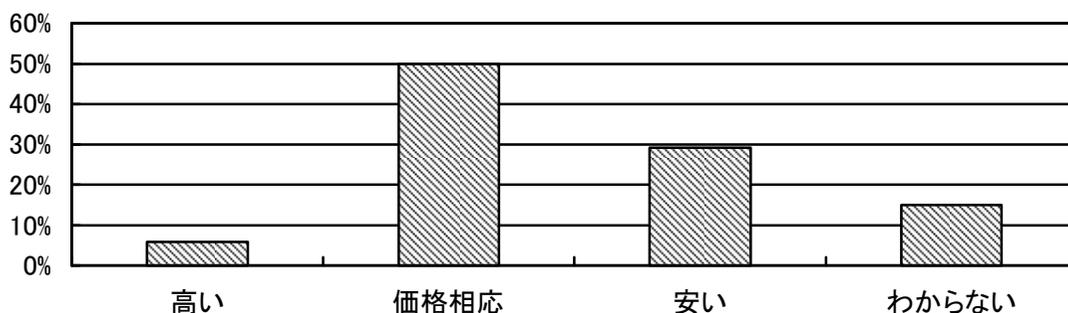
Q. あなたはバナナを買う時、何を基準に選びますか。(複数回答 n=1442)



バナナの価格意識

「価格相応」が49.9%と最も高く、次いで「安い」が29.1%と続いています。

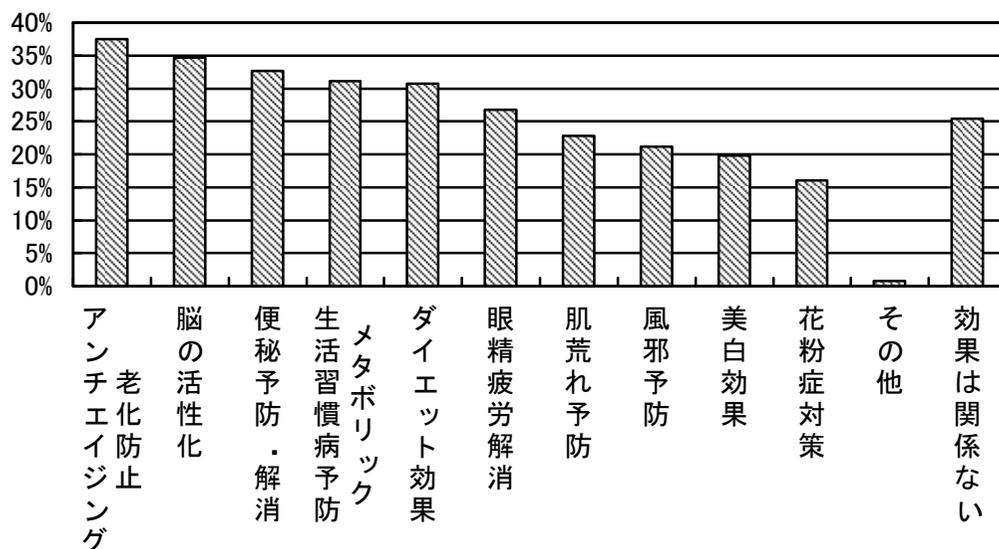
Q. 現在のバナナの価格についてどう思いますか。(単一回答 n=1442)



バナナの購入を喚起する効果

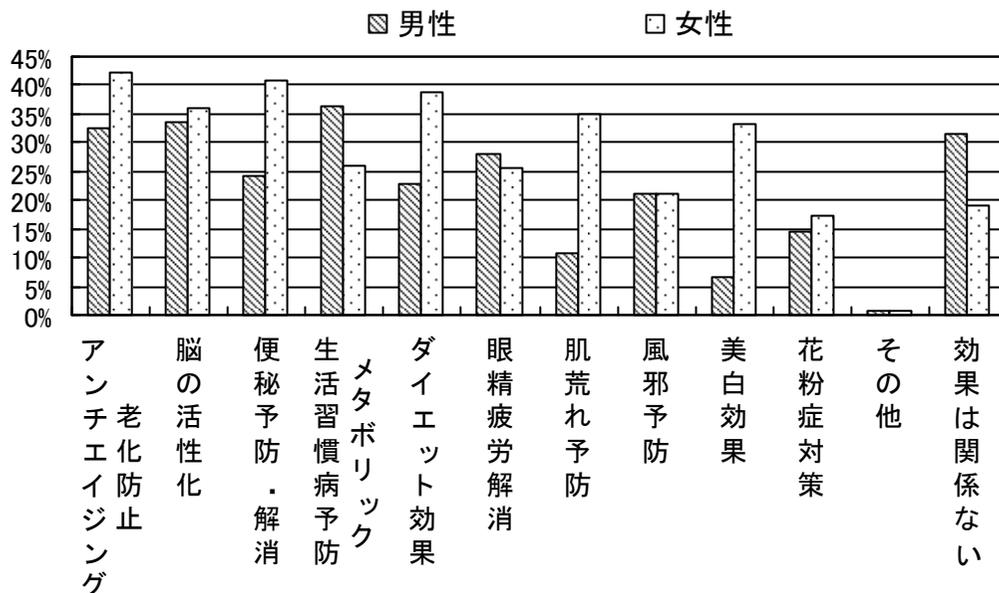
「老化防止・アンチエイジング」が 37.5%と最も高くなっていますが、分散傾向にあります。

Q. あなたはどのような効果があればバナナを購入しますか。(複数回答 n=1442)



● 性別のグラフ

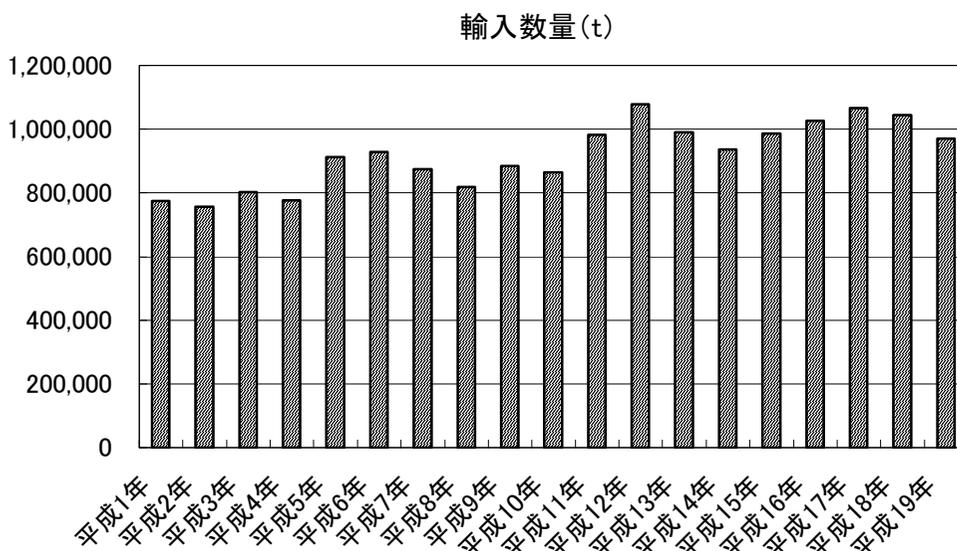
「老化防止・アンチエイジング」、「便秘解消・予防」、「ダイエット効果」、「肌荒れ予防」、「美白効果」といった部分では女性の方が、「メタボリック・生活習慣病予防」では男性の方が高くなっています。



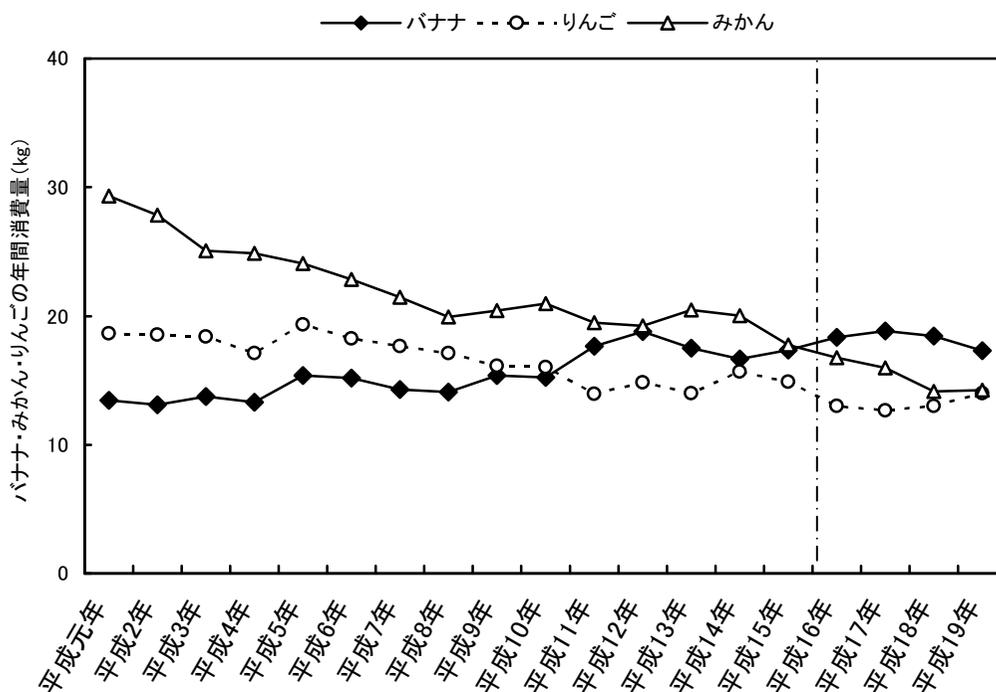
統計資料

(財務省貿易統計・総務省統計局家系調査より)

財務省貿易統計のデータによると、平成 19 年のバナナの輸入数量は、前年よりも減少していますが、輸入果物の中では最も輸入量が多い果物です。



総務省統計局家系調査の結果によると、平成 16 年にみかんを抜いて 1 位となって以来、バナナは、果物の年間消費量の 1 位をキープしています。



発行

日本バナナ輸入組合

東京都千代田区内神田 1-3-1 トーハン第三ビル

お問合せ先

日本バナナ輸入組合広報室

東京都千代田区二番町 4-3

TEL 03-3288-7244 FAX 03-3288-7305

担当 古川 ・ 富澤

バナナ大学ホームページ

<http://www.banana.co.jp>